

# 麦の穂が黄金色に 刈取りを迎える麦秋の野田

## ～県内一の作付面積と収穫量～

今年も市内目吹や船形などの「麦作団地」が一面黄金色に染まり、風が吹くと麦の穂がまるで波のように揺れている。県内一（作物統計最新データによる）の作付面積と収穫量を誇る大麦・小麦が収穫時期を迎え、5月下旬から6月中旬にかけて、麦の刈取りが始まる。

今年は、大麦が本日5月26日から、小麦は6月10日頃から刈取りが始まる予定となっている。

野田市で本格的に麦が作られるようになったのは、昭和57年から。米の減反政策により、田んぼを集団化して船形に「麦作団地」を作ったのが始まり。

その後、目吹、小山でも麦作団地が作られ、令和2年の野田市の麦の作付面積は、およそ199ha(小麦約171ha・大麦約28ha)と県内最大規模となっている。

刈り取られた小麦はうどんの原材料となる製粉に、大麦(六条大麦)は麦茶に加工される。

麦の刈取りは天候にもよるが、大麦は市内2か所で5月26日から、小麦は6月10日頃から始まる。

《参考》県内の麦の作付及び収穫状況（農林水産省 作物統計：令和元年産）

市町村名	作付面積(小麦)	収穫量(小麦)
野田市	153 ha	682 t
香取市	80	284
横芝光町	75	302
八街市	85	261
市原市	72	268
神崎町	73	243

※大麦については、公表しておりません。

※収穫日は天候等により変動いたします。お手数ですが、取材等は事前に農政課までお問い合わせいただければ幸いです。

問合せ 農政課・電話 04-7125-1111 内線 2340

野 田 市